令和7年度 都立足立工科高校における教科指導の重点

重点教科 (科目)	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有し、指導事項について確認 ・「社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけること」の指導内容の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路活動に向けた履歴書、志望理由書、進路作文の書き方 ・社会人生活に向けた手紙、ビジネスメールの書き方、電話の対応
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的な見方、考え方を働かせた数学的活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有し、指導事項について確認 ・「数学的な活動を通して、数学的に考える資質や能力を身につけること」の指導内容の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントなど、コンピュータや情報通信技術(ICT)の活用 ・理数同好会など授業時間以外での問題演習活動
外国語 (英語)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の4技能(L.R.S.W) 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有し、指導事項について確認 ・「実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識や技能を身につけること」の指導内容の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・各レッスンの内容に関するパフォーマンステストを実施 ・一人1台端末の活用(単語の意味調べ、各レッスンの学習内容の調べ学習) ・英語検定への挑戦(チャレンジ)
<機械> 工業技術 基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・工業の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有し、指導事項について確認 ・「機械系に関する技術を作業に即して理解するとともに、関連する技術を身につけること」の指導内容の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・溶接、旋盤、NC、製図、作品制作、レポート整理等の各項目3時間のローテーション授業の実施 ・工具や機械の操作における安全作業
<電気> 工業情報 数理	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題解決」につながる学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助教材を導入し、社会課題の解決を題材とした実習教材を導入 ・「DXリテラシー標準」に基づき、一人ひとりがDXに関するリテラシーを身につける ・各単元の最終課題で、グループ(協働学習)による探究的な実習を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報技術検定に挑戦(チャレンジ) ・プログラミングやデータサイエンスなどの分野で活躍する専門家を招聘し、実社会で活用されている情報技術について学ぶ ・探求的な学習を通じて、情報活用能力を育み、「問いを立てる力」「仮説を立てる力・検証する力」などのDXを推進するために必要なスキルを身につける